

2025年度  
岡山大学大学院法務研究科  
法学未修者入試C日程  
小論文試験

[問 題]

<注意事項>

1. 指示があるまで、この冊子を開いてはいけません。
2. 配付した物は次のとおりです。
  - ①[問題](本書。表紙を含めて2枚)
  - ②[文章](1～12頁。表紙を含めて13枚)
  - ③解答用紙(3頁。表紙を含めて4枚)
  - ④下書用紙(1枚)
3. 解答は、解答用紙に鉛筆又はシャープペンを用いて横書きで記入してください。
4. 解答用紙は解答の有無にかかわらず、必ず全て提出してください。解答用紙の持ち帰りはかたく禁じます。
5. 試験終了後、[問題]、[文章]及び下書用紙は持ち帰ってください。

問題 別添の〔文章〕を読んで、下記の各設問に解答しなさい。

【設問1】

傍線(1)〔文と文との関係を「内容」ではなく、その「形式」に注目することによって結論の真偽が判断できる仕組み〕(〔文章〕2頁)とは、  
どのようなものですか。筆者の理解を〔文章〕に即して説明しなさい。

(300字以内)

(配点80点)

【設問2】

筆者がレトリックの特徴をどのように捉えているかを明らかにしたうえで、レトリックの論理が論理学の論理と異なる理由を〔文章〕に即して説明しなさい。

(800字以内)

(配点120点)

※ 出典：渡邊雅子『「論理的思考」とは何か』(岩波新書・2024年)2頁以下(なお、出題の都合上、一部を省略・加工している。)

### 【出題の趣旨】

特定のテーマについて書かれた問題文を読み、その内容を的確に理解できる能力をみるとともに、提示された設問に対する解答を、論理的かつ説得的に論述できる能力をはかることにある。

### 【採点の指針】

[文章] の意味を把握した上で、設問に沿った解答ができているかどうかを評価する。

設問1においては、[文と文との関係を「内容」ではなく、その「形式」に注目することによって結論の真偽が判断できる仕組み] がどのようなものであるのかについての筆者の理解を [文章] に即して説明することが求められる。筆者の理解を説明することなく自説を展開する答案や、[文章] に即して説明していない答案は、低い評価となる

設問2については、①筆者がレトリックの特徴をどのように捉えているかを明らかにしたうえで、②レトリックの論理が論理学の論理と異なる理由を [文章] に即して説明するように指示がなされていることから、そのような指示に沿った解答がなされる必要がある。また、レトリックの論理が論理学の論理と異なる理由を説明する際には、レトリックと論理学とでは、その目的が異なっている点に着目する必要がある。上記①及び②の一方ないし両方が書かれていない答案、筆者の理解を説明することなく自説を展開する答案、[文章] に即して説明していない答案は、低い評価となる。